

災害復旧へのパワーアシストスーツ適応を排水ポンプ設置、土のう造成作業で検証を実施

R4.3.2

近畿技術事務所

ICT施工により建設機械施工の生産性向上が図られている中、建設技能者による人力作業は数十年技術変化がなく、この生産性向上が不可欠です。本省では他産業の人力作業で実用化が進むパワーアシストスーツ（PAS）の導入検討として技術公募を行い、応募のあったPASについて現場検証をしています。

今回、近畿技術事務所構内にて災害復旧の現場検証を排水ポンプ車等を用いて実施しました。排水ポンプ設置、土のう造成作業においてオペレーターがアクティブ(モーター等による電動アシスト)、パッシブ(ゴムやバネによるサポート)の2タイプのPASを装着し、災害復旧作業の負担軽減の検証を行いました。

本省では災害復旧だけでなく、通常工事でも実証を行っており、今回の実証の結果を踏まえつつPASが有効な作業を示し、建設施工への導入を図るとともに建設施工に求めるPASの要求項目を発信していくとのことです。

近畿技術としても本省と連携を図り建設現場の生産性向上に資する技術の導入検討を進めていきます。

実施概要

日時：令和4年3月1日(火), 2日(水)10:00~17:00

場所：近畿地方整備局 近畿技術事務所 構内 不具合堤防

内容：パワーアシストスーツの災害復旧時活用の適応を検証



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所

〒573-0166 大阪府枚方市山田池北町11-1 TEL 072-856-1941